

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	EBM普及推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長：石井安彦		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-7 医療を始めとする社会保障分野の情報化を推進するとともに、社会保障・税に関わる番号制度の実現に向けた検討に参画する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成19年3月：医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成19年5月：医療・介護サービスの質向上・効率化プログラム 平成19年6月：経済財政改革の基本方針2007 平成20年6月：IT政策ロードマップ 平成20年8月：重点計画2008 平成21年3月：規制改革推進のための3か年計画(再改定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	EBM(Evidence Based Medicine「根拠に基づく医療」)を推進することにより、最新かつ最適な情報に基づく治療法等を、専門分野外の診療を行う医師や医学雑誌等の情報の入手が難しい遠隔地に勤務する医師等を含め、全ての診療の場で容易に活用できる効果が期待されている。また、患者にとっても治療法等の拠り所となる科学的な根拠が明示されるため、自分の病気を十分に理解し、治療法等を選択することが可能となる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	EBMの普及・啓発等を進めていくため、インターネットの普及が進んだ現代社会において、診療ガイドラインや国内外の医学文献等について科学的に評価を行った上でデータベースとして整備し、インターネットを中心に広く国民へ提供する。このことにより、EBMの推進を図り、良質な医療提供体制を確保することができる。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算			154	150	150	
		繰越し等						
		計			154	150	150	
	執行額			152				
	執行率(%)			98.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	診療ガイドライン等医学文献情報の整備数	成果実績	件	-	-	391	-	
		達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	ホームページのアクセス件数	活動実績(当初見込み)	件	-	-	10,485,709	-	
					(-)	(10,000,000)	(-)	
単位当たりコスト	143,176(円/診療ガイドライン等医学文献情報の整備数)		算出根拠	55,982,000円/391件=143,176円 平成23年度の診療ガイドライン等評価費、その他運営費(55,982千円)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	データベース整備費	49	49					
	診療ガイドライン等評価費	48	48					
	その他運営費	53	53					
	計	150	150					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の安全な提供、医療の質の向上に資する診療ガイドライン等の最新医学知識を閲覧可能にし「根拠に基づく医療」を推進していくものであり、優先度が高い事業である。 ・診療ガイドラインや医学文献等について、科学的に評価を行った上でデータベースとして整備し、広く国民へ提供するため、国として実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・医学的知識について高い水準の見識が要求されることから、企画競争方式により調達を行った。 ・企画審査委員会において、コストについても評価項目として、削減に努めた。 ・診療ガイドラインや医学文献等について科学的に評価を行った上でデータベースとして整備し、広く国民へ提供するものであり、全額国費で負担することは妥当である。 ・事業を円滑に実施するため、委託先において一般競争入札や実績のある業者を選定し再委託しており、合理的なものとなっている。 ・事業の遂行に際して必要なもののみを支出している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・最新かつ最適な情報に基づく治療法等を、全ての診療の場で容易に活用できる効果や、患者にとっても自分の病気を十分に理解し、治療法等を選択することが可能となり、実効性の高い手段となっている。 ・年度ごとに診療ガイドライン等の整備数について目標を定め、着実に実施している。 ・当初見込みどおりの活動実績となっている。 ・専門分野外の診療を行う医師や医学雑誌等の情報の入手が難しい遠隔地に勤務する医師等を含め、全ての診療の場で容易に活用され、また、患者にとっても自分の病気を十分に理解し、治療法等を選択することができるようになっており活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度にデータベース構築が完了したため、平成24年度以降は診療ガイドライン等医学文献情報の整備を充実していく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	EBM普及推進事業については、診療ガイドラインや国内外の医学文献等についてデータベースとして整備し、インターネットを中心に広く国民へ提供するための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	執行状況・成果実績等を踏まえ、より効率的に事業を実施してまいりたい。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-0008

厚生労働省
152百万円

【診療ガイドラインや国内外の医学文献等についてデータベースを整備し、広く国民へ提供するための補助】



【企画競争】

A. 公益財団法人 日本医療機能評価機構

〔診療ガイドラインや国内外の医学文献等について科学的に評価し、データベースとして整備する。〕



【一般競争】

B. 民間会社(5)
33百万円
(株)パスコ 26百万円

(システム開発等)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.公益財団法人 日本医療機能評価機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	職員給与、研究員給与等	37			
委託費	人件費等 (株)パスコ、(株)ブレインソフト、(有)モッズ医療情報、富士通エフ・オー・エム株式会社、(株)サンメディア	32			
雑役務費	運用保守、ハウジング料等	25			
その他	諸謝金、旅費等	19			
賃借料	機器等借料、事務所借料等	16			
賃金	派遣職員賃金、アルバイト賃金	8			
消耗品費	文具、封筒等	8			
備品費	備品購入費	7			
計		152	計		0
B.(株)パスコ			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	システム開発	26			
計		26	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人 日本医療機能評価機構	診療ガイドライン等医学文献情報の整備	152	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)パスコ	システム開発	26	5	
2	(株)ブレインソフト	システム管理	4	随意契約	
3	(有)モッズ医療情報	ガイドライン解説下案作成	3	5	
4	富士通エフ・オー・エム株式会社	イラスト作成	0.5	2	
5	(株)サンメディア	データ利用契約代行請負	0.2	随意契約	